

今日も「一丁あがり」



第11話

折れてしまった草刈機の刈高調節ハンドルを超特急で修理せよ!の巻

皆さん、こんにちは! 最近枕を買い換えたロボストス高垣でございます。多くの整体師が絶賛しているという怪しげな枕を購入(笑)。睡眠の質は向上させられるでしょうか?

それにしても、先月も書いたんですけど、コオロギの話——家の中にまで入って来て耳元の3m先で鳴くんです。本当にうるさくて眠れなくてですね。どうやら2年前に隣の畑を管理していたおじいさんが倒れて耕作放棄地になってから、小虫↓毛虫↓コオロギと順番に大量発生しているんです。次は何が出て来るのか、味わったことのない恐怖感に苛まれております(笑)。こういう状況に置かれて初めて、害虫や鳥獣害対策に追われる農家さんの気持ちがいさし理解できるようにになりました。隣の畑には木もあるんですが、いつからか鳥肌が立つほどジョロウグモが群生し始め、さらに野生の巨峰までできています! なんてやねん!! 草も木もすべて刈ってしまいました!

材料の手配も汎用品なら ネット通販も便利に使おう

ということで、今月はハンマーナイフモアを直してみましよう!

またまた登場するのは、福岡県の仲良しディーラーT中さん。バロネスの草刈機HMC950の刈高調節ハンドルが折れて、メーカーの部品在庫がなく供給に1カ月かかるとのこと。しかも草刈シーズン真っ只中で、草刈り代行もしている造園屋さんが困っていると聞けば、超特急で片づけてあげたい案件です。

届いた画像からネジ部分が折れているのはわかりますが、普通のネジではありません。僕はいまや現場からの連絡はメッセージアプリで写真付きで届く

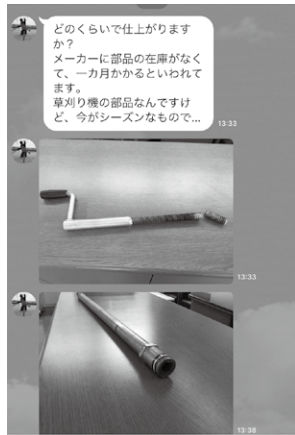


写真1: いまや現場からの連絡はメッセージアプリで写真付きで届く



写真2: 台形ネジ部分が折れてしまったハンドル



写真3: 端面を旋盤加工した台形ネジ。こうした処理が溶接作業を楽にし、品質を担保する



写真4: 仕上がったハンドル



高垣達郎 (たかがき・たつろう)
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株式会社ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株式会社ロボストス 代表取締役社長。

ならば30度(TM/TR)か29度(TW)か。最後に30度の台形ネジならば旧JIS規格(TM)か新JIS規格(TR)か。「なんとかうまくやります! いますぐ送ってください!」というわけで、あの手この手で最短仕上げを目指しましょう!

【今回の作業はコチラ】

- ①金曜日夜——折れたハンドルが到着。ネジの規格を判別する(寸法が怪しいが、台形ネジ30度で新JIS規格TRの可能性が高いと予想)
- ②得意先のネジ屋さん(土日休みですが、TR規格のネジ棒なら通販サイト「モノタロウ」でも買える

のでボチる

- ③折れたハンドルの溶接部をサンダーで削って準備する
- ④届いたネジ棒の寸法を確認→予想の中! →ハンドルの芯を出すために旋盤でインローを加工する
- ⑤月曜午前——溶接してメッキなしで発送

画像で事前に課題を把握して、作業手順を整理して、一気に解決! 今回お伝えしたかったのは、機械部品は工業規格に準拠して作られているということ。そして、最近ネット通販で手に入る材料も増えていること。馴染みのネジ屋さんなら安くすぐ手に入りますが、今回のような場合は、ミスミさんやモノタロウさんなどの工業系ネット通販も心強い存在ですね。今月はT中さんから頂いたありがたい言葉で締めましょう。「持つべきものはロボストスですな!」。ああ、嬉しい! 生まれてきてよかった! ということで、今日も一丁あがり! ということで、